

講演概略

2011年10月22日：呉9条の会講演会

フクシマに学ぶ －止めよう！上関原発－

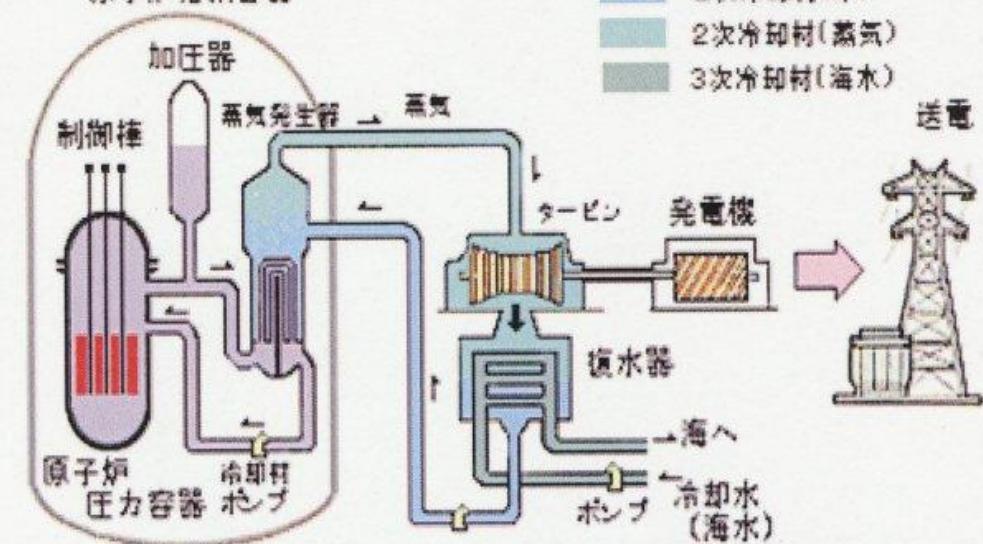
ビューポート呉

木原 省治

1. 原子力発電のしくみ

■ 加圧水型原子力発電(PWR)のしくみ

原子炉格納容器



1次冷却材(水)

2次冷却材(水)

2次冷却材(蒸気)

3次冷却材(海水)

北海道電力

関西電力

四国電力

九州電力

メーカー

三菱

■ 沸騰水型原子力発電(BWR)のしくみ

格納容器

圧力容器

再循環ポンプ

圧力抑制プール

蒸気

水

水

1次冷却材(水)

1次冷却材(蒸気)

東京電力

東北電力

中部電力

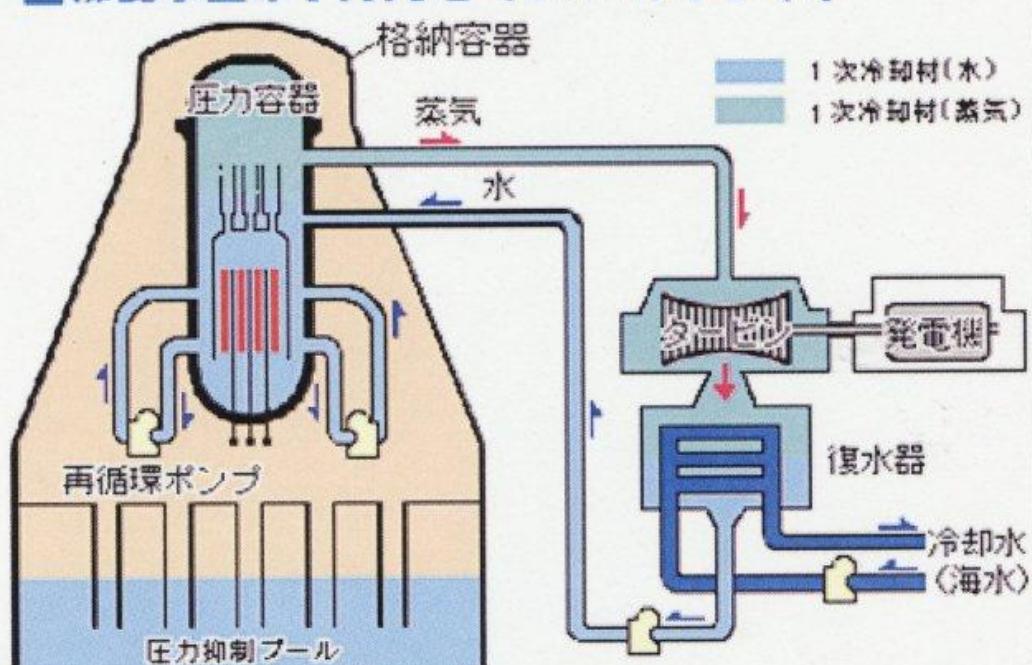
北陸電力

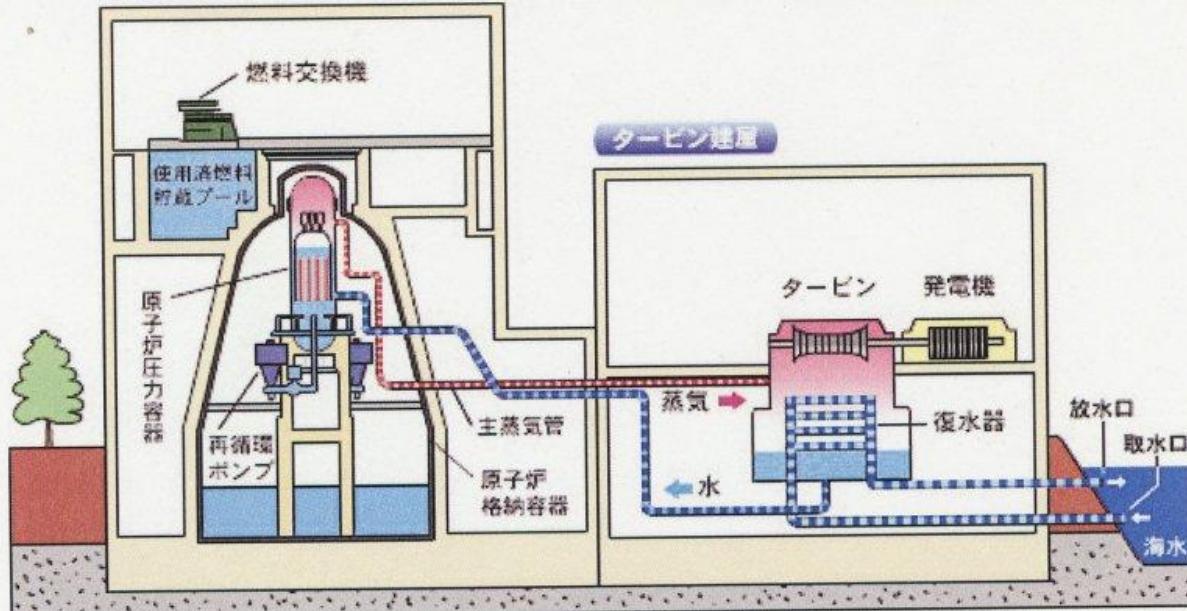
中国電力

メーカー

東芝

日立





2. はじめに

☆、日本の原発	54基	4,911万kW
建設中	2基	414万kW
もんじゅ		28万kW
閉鎖	4基	171万kW

54基の原発中、7月22日に関西電力高浜原発4号機（87万kW）と大飯原発4号機（118万kW）が定期点検で停止。関電の福井県にある原発13基中9基が停止。また、8月6日には東京電力柏崎刈羽原発1号機が停止、同7号機と北海道電力泊原発2号機が8月中に定期検査。9月も停止予定の原発あり。

関西電力には、中国電力からとりあえず8月末まで72万kWを融通している。

このまま、定期検査に入って運転再開が認められなければ、遅くとも来年5月には全ての原発が停止するが？

1、事故による放射能の拡散範囲

3月26日、北半球全体。アメリカ西部。

4月4日、そして南に、オーストラリア、パプアニューギニア、マレーシア、フィジーなどにも。

チェルノブイリの時には、北半球に集中していた。

2、高木仁三郎さんの言葉。

亡くなる年の講演の言葉。

「私はそもそも、原子力は電力として使うには無理なエネルギーだと感じていました」「それがある種の政治的圧力により、強引に電力供給の主流の乗せられようとした」

3、1954年7月2日の毎日新聞

=原子力発電時代来る=

電気料は2000分の1になる←検針代金の方が高くなるので
無料にする。

ビルの地下でも発電

3. 事故の発端は！

1、原発を停止する場合。

☆予定が決まっていて停止する場合

定期検査などで止める場合。2～3日かけてゆっくり制御棒を挿入して、核分裂反応を停止させて、約280°Cの冷却水を約半日かけて100°Cくらいに低下させる。

☆事故などで緊急停止する場合

直ちに制御棒を挿入して、核反応を停止させる。(スクラムという)
これは、核燃料に小さな穴(ピンホール)や、燃料に負担をかけることになるので、なるべくしない。

☆制御棒

ホウ素、カドミウムで出来ている。中性子を吸収するもの。

2、この度の事故の経過。

事故時の運転状況 1号炉→運転中→水素爆発(原子炉建屋)

2号炉→運転中→水素爆発(圧力抑制室)

3号炉→運転中→水素爆発(原子炉建屋)

4号炉→定期検査中→水素爆発(使用済み燃料貯蔵プール)

5、6号炉→定期検査中(使用済み燃料貯蔵プール
水温上昇)

☆3月11日午後2時46分→地震発生。

スクラムで、原子炉自動停止。→停電→非常用ディーゼル発電機が自動起動。この間に、配管の破断。送電系統の事故が発生

したと考えられる。

☆3月11日午後3時41分～45分→津波が襲来。

非常用ディーゼル発電機が故障停止→オイルタンクなど流出→緊急炉心冷却装置（ECCS）作動不能（3号炉は作動）

事故の経過

【この時の東北地方の原発状況】

東北電力東通原発→定期検査中

東北電力女川原発→1～3号運転中

福島第一原発→1～3号運転中。4～6号定期検査中

福島第二原発→1～4号運転中

東海第二原発→運転中

②午後3時41分～45分：津波襲来

③東北地域の宮城県東北電力女川原発1～3号機、茨城県の日本原子力発電東海第二原発で、原子炉が自動停止した。

④しかし、福島第一原発では自動停止はしたもの、停電になっていたため外部電源の供給が止まった上に非常用ディーゼル発電装置も動かず、冷却水の循環が停止した。（非常用ディーゼル発電機は全部で13台）

（移動電源車の到着22時30分）

（制御棒の挿入により、核分裂は停止したが、約300℃の原子炉容器内を50℃まで下げなくてはならない。そのために冷却水を循環させる必要がある）

⑤燃料の崩壊熱により温度の上昇が続く。こうした状態が続くと、炉心の冷却水は蒸気となって徐々に失われ、水面が下がり普段は水に浸っている核燃料棒が出てしまう。

（原子炉容器は70.3気圧まで耐える。格納容器は4.35気圧とされている）

※普通の大気は1気圧。シャワーが約2気圧。10気圧の水圧を受けると、人間は死亡する。

⑥格納容器が耐えられなくなると爆発の危険性があるため、蒸気逃がし弁を開けて、排気塔から放射能を含む蒸気を外部へ排出させて（ベント）格納容器内の圧力を下げようとした。

（この時点で、住民避難をしなければならない。住民の避難が終わらない状況で弁を開こうとしたが、弁が開かないでベント設備を使って排出した）

- 3、事故から2ヵ月以上経過して、メルトダウンを認める。
 それも3月11日の午後6時30分にメルトダウンを開始。
 3月12日の午前6時50分に全燃料棒が炉底に落下

4、なぜ定期検査中の4, 5, 6号炉が爆発したか？

☆それは、原子炉建屋内にある使用済み核燃料貯蔵プール。

炉心の燃料	使用済み燃料貯蔵プール内の燃料
-------	-----------------

1号炉	400体	292体
2号炉	548体	587体
3号炉	548体	514体
4号炉	0体	1331体
5号炉	548体	946体
6号炉	764体	876体

☆、核燃料　核燃料棒約4.5m

50本から80本を一体と呼び、400体から800体が原子炉の中にある。

☆、建屋内の使用済み核燃料貯蔵プール

福島第一 3号機の場合 長さ10m
 幅 12m
 深さ12m

(25mプールの数倍。1400トンの水で満たされている)

☆、使用済み核燃料、原発の建屋内で冷却するために3年～5年保管されて、敷地内の違う場所に運ばれる。

☆、リラッキング←使用済み核燃料貯蔵プールの貯蔵ラック間の距離を短くすることで、貯蔵容量の増加を図る。
 PWRの場合、約1000体から約1700体にする。
 通常のラックピッチ 40センチ。リラック後は30センチ。

☆、東京電力の原発 福島第一 6基
 福島第二 4基
 柏崎刈羽 7基 (世界一の集中立地)

4. 放射能のこと

1、放射能、放射線

☆広島に投下された原子爆弾のウラン←800グラム

☆原子力発電所で使用されるウラン←1年間で1トン。

☆、放射能の特徴

1、ヨウ素131←ベータ線を放出して、キセノン131になりガンマ線を出す。甲状腺に取り込まれる。半減期8日間。

2、セシウム137←ガンマ線を放出する。筋肉に取り込まれる。半減期30年。

セシウムの影響=小腸、大腸、腎臓、脾臓、心臓、肺、脳、肝臓にも蓄積され、呼吸器疾患や消化器疾患を繰り返したり、脳神経疾患、先天異常、白内障なども発症する。また、高血圧、低血圧、心電図の異常という疾患も多いとの調査結果がある。

※9月22日に北九州市で開催された日本原子力学会で日本原子力研究開発機構の木村仁宣研究員は、セシウムの直接吸入よりも地面から再浮遊した舞い上がり内部被ばくの方が10倍危険と指摘した。←地面の除染は緊急を要する課題。

3、ストロンチウム90←ベータ線を放出する。骨に取り込まれる。半減期28.8年。

4、プルトニウム239←アルファ線を放出する。骨、肝臓、肺に取り込まれる。半減期2万4400年。

☆、放射線← α 線、 β 線、 γ 線、中性子線

☆、一般人の放射線許容基準、1000マイクロシーベルト
1ミリシーベルト

職業人は、 50ミリシーベルト

(3年間で50ミリシーベルトが2回)

事故時は、 100ミリシーベルト

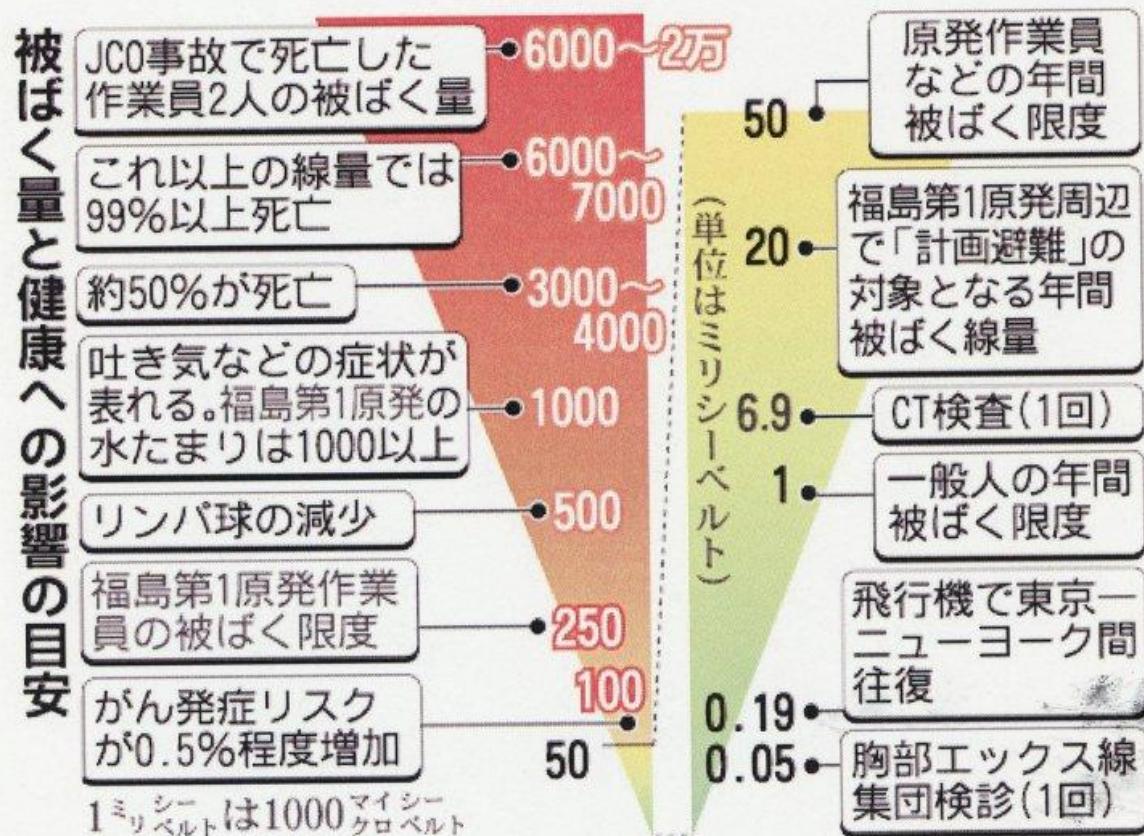
この度は 250ミリシーベルト

JCO事故で亡くなった大内さん、篠原さんは6シーベルト(6000ミリシーベルト)生き残った、人は1~4.5シーベルトと言われている。

☆EUが現在、放射性物質の証明書を要求しているのは

宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、新潟、山梨、長野の12府県。

☆5月23日現在、日本の農産品への輸入規制を実施しているのはEUを含む39カ国・地域



2、ヨウ素剤について

ヨウ素131

物理的半減期

8日

体内の半減期

7.5日

ヨウ素剤の副作用

極めて希

ヨウ素剤を飲むのに注意が必要な人

甲状腺機能異常症

ヨウ素を含む造影剤過敏症

低補体性血管炎
ジューリング疱疹状皮膚炎

ヨウ素剤の服用量（日本の基準）

新生児	12.5 mg	水溶液
生後1ヶ月から3歳未満	25 mg	水溶液
3歳から13歳未満	38 mg	1錠
13歳以上40歳未満	100 mg	2錠
40歳以上	投与しない。	

ヨウ素剤の効果と配布基準・場所

- ヨウ素剤はいつ飲むのが効果的？

放射性ヨウ素が取り込まれる

24時間前から	93%阻止
2時間後では	80%阻止
8時間以降	40%阻止
24時間後	7%阻止

- 配布基準

等価線量が100mSvになると予測されたとき

- 現在決められている配布場所←避難所

3、被曝線量の引上げ

一般人を年間20ミリシーベルトに引上げ。

職業人の50ミリシーベルトを撤回。

☆放射線管理区域。

人が放射線の不必要的被ばくを防ぐため、放射線量が一定以上ある場所を明確に区域し人の不必要的立ち入りを防止するために設けられる区域である。

☆管理区域の設置基準

外部放射線による実効線量と空気中の放射性物質による実効線量との合計が3ヶ月につき1.3mシーベルトを超えるおそれのある区域。1年では、 $1.3 \times 4 = 5.2$ mシーベルト

4、20ミリシーベルトについて

I C R P (International Commission on Radiological Protection 国際放射線防護委員会)は、20ミリシーベルトの引上げで、大人で100人に1人、子どもで200人に1人がん死が増えるとしている。
←専門家の立場から放射線防護に関する勧告を行う民間の国際学術組織

E C R R (European Committee on Radiation Risk 欧州放射線リスク委員会)では、20ミリシーベルトでがん死が大人で83人に1人、子どもで17人に1人としている。
←国際連合やいずれの国の政府などとは関係ない私的な団体。

アメリカの化学者で、原子爆弾製造計画に関わったが、その後原子力の危険性を訴えて市民運動に関わったジョン・W・ゴフマンは20ミリシーベルトでがん死は、大人で125人に1人、子どもで25人に1人となると述べている。
←2007年に死去。

日本の許容線量というのは、外部被ばくのみを考えに入れている。

D S 8 5。

欧州放射線リスク委員会 (E C R R) の試算によれば、戦後6,400万人の人が内部被ばくにより命を落としているとしている。これに対して I C R P の基準だと犠牲者は117万人に減少される。

20ミリシーベルトになることについて、小佐古敏莊さんが、内閣官房参与を辞任。

5、チェルノブイリ原発事故の死者数

【チェルノブイリ原発事故の死者数報告】

	ガン死数	対象集団
チェルノブイリファーム (2005年)	3940件	60万人
WHO報告 (2006年)	9000件	被災3カ国 で740万人
I A R C 論文 (2006年)	1万6000件	ヨーロッパ全域 5.7億人
キエフ会議報告 (2006年)	3万~6万件	全世界
グリーンピース (2006年)	9万3000件	全世界

=政府の発表では、未だに運転員、消防士を合わせて33人=

※ I A R C (国際がん研究機関：
International Agency For Research on Cancer)

事故被災者の分類

☆運転員と消防士たち	1 0 0 0 人～2 0 0 0 人
☆事故処理作業従事者	6 0 万 人～8 0 万 人
☆事故直後の避難住民	約 1 2 万 人
☆高汚染地から移住者	約 2 5 万 人
☆汚染地域居住者	約 6 0 0 万 人

6、内部被ばくの問題点

日本の許容線量というのは、外部被ばくのみを考えに入れている。
D S 8 5。

欧州放射線リスク委員会（E C R R）の試算によれば、戦後6, 400万人の人が内部被ばくにより命を落としているとしている。これに対して I C R P の基準だと犠牲者は 1 1 7 万人に減少される。

5、国策として守られて過ぎている日本の電力事業

1、地域独占

特定規模電気事業者といわれる発電会社が既存の電力会社を含め56社（2011年4月現在）あるのに、送電網に乗せるに大きな障壁がある。

56社の内、電力会社以外の主な会社→ダイアモンドパワー・丸紅・パナソニック・オリックスなど

2、発送配電が分離されていない

福島原発や柏崎刈羽原発から関東地方まで直線で約 2 0 0 k m。建設中の青森県東通原発からは 5 5 0 k m。世界でもまれな 1 0 0 万 k w で送電しているので、5%ほど損失している。この数は、1年間で約 4 5 8. 0 7 億 k w h の損失で、1 0 0 万 k w の原発6基に相当する。送電線や変電所の建設・保守・管理費用も莫大なものとなる。

・ドイツに見る発送電分離の状況。

：料金比較サイト（ベリボックス）のフランクフルトの電気料金を検索すると約 1 5 0 ものプランが表示される。

料金は割高だが、二酸化炭素の排出ゼロとか放射性廃棄物ゼロを売り物にするプラン。料金の一部を社会貢献に寄付するというプランなど。
：自由化の結果。ドイツでは発電部門が大手4社。送電も4社。配電は約870社が乱立している。新規参入も簡単で、新規の参入が絶えない。

3、総括原価方式

電気料金収入＝原価+報酬（報酬は原価+4.4%）

4、損害賠償の責任範囲

☆、原子力損害の賠償に関する法律

電力会社の損害責任限度←第7条 1200億円。それを超えたものは、国が援助することになっている。原子力を進めるために、電力会社の負担限度額というか保険会社と契約を結ばせるために、電力会社の賠償限度額を決めた。

現在の東京電力の主張。第3条（その損害が異常に巨大な天災地変又は社会的動乱によって生じたものは免責されるという）条項。

☆、1年間の損害保険料

水力発電所の保険料は0円。

火力発電の場合は1700万円。

原子力発電は4億4800万円。

5、電源開発促進税で金を強制的に取り上げる。

☆私たちが、電気を使うと必ず払う電源開発促進税。

1 kWh当たり37.5銭（標準的な家庭の場合1ヶ月約120円くらい）

内訳：電源利用対策 18.5銭

電源立地対策 19.0銭

これが電源三法交付金として、地域対策に使用される。

（例えば、135万kWの原子力発電所が新設される場合、運転開始までに約449億円が、建設市町村に交付される）

様々な交付金。

この事故を経験しても、4月13日の官報で経済産業大臣と文部科学大臣の連名で449億円から481億円に32億円上積みした。

6、再生可能エネルギーへの援助不足

☆、2011年の原子力関係予算 4,330億円（外務省・文部科学省・経済産業省）

7、高くつく原子力発電

☆、平成21年度次のようなお金を引当て金として積み立てています。

使用済み燃料再処理引当金	→ 946億2500万円
使用済み燃料再処理等準備引当金	→ 46億3400万円
原子力発電施設解体引当金	→ 613億4500万円
原子力発電工事償却準備金引当金	→ 457億5500万円
合 計	2063億5900万円

8、ムダで危険な核燃料サイクル

高速増殖炉開発にかかった費用

もんじゅ（福井）	9,032億円
常陽（茨城）	1,728億円
開発研究開発	6,161億円
燃料製造施設	1,699億円
合 計	1兆8,620億円

反原発新聞2009年11月号

当初1997年とされていた六ヶ所村再処理工場は、これまでに完成時期が18回延期され、現時点では2012年10月とされている。

当初7,600億円とされていたが、既に2兆2,000億円が使われ、まだまだ増えそうである。

9、原発を進めてきた上での問題点

①原発を進める立場と安全を正す立場が一緒

内閣府：原子力委員会↔原子力安全委員会

経済産業省：資源エネルギー庁↔原子力・安全保安院

②政治（官僚）↔財界（大学・メーカー）↔学問（大学）の間の癒着構造。それと電力や電機などの労働組合の関係。

③何が何でも、核燃料サイクルを構成しようとする動き

④誰もが責任を取ろうとしない、無責任体质

⑤電力会社の形態を変革しようなど誰も言わない。例えば、発送電の分離や電力の完全自由化。

来年の4月には、環境省の外局として、原子力安全・保安院と、原子力安全委員会が統合されて原子力安全保安庁が出来ることになったが。

原子力安全庁の構成 原子力安全委員会から約100名
原子力安全・保安院から約400名
文部科学省から 約 10名

8月2日 原発避難者特例法が可決

3日 原子力損害賠償支援機構法が可決

再生エネルギー特別措置法案が成立した。

10、電力産業の課題

①50Hz・60Hz問題。西から東には、西で作る電力の1%しか送れない。両方60Hzにする設備投資は20兆円以上。

11、三菱重工業の思惑

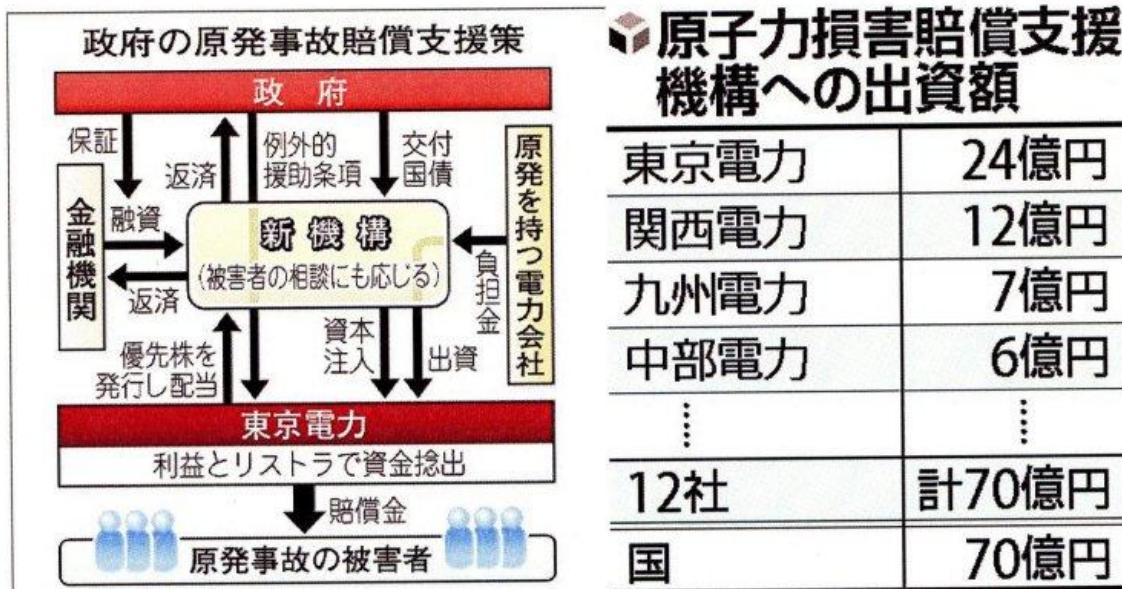
①8月に社内に「安全高度化対策推進室」を設置。今回の事故で、売り上げが当初見込みの2000億円が1000億円増額するだろうと。

②8月26日に国会でヨルダンとの原子力平和利用協定締結が承認され、ヨルダンやベトナムへの原発の売り込みを狙う。

このままの状態が続ければ、来年の春には国内の全ての原発が停止することになるが、原発の運転再開を求める世論作りが強く、座っていては原発の停止は、困難である。

12、最近の動き

- ◎8月3日「原子力賠償支援機構法」が成立



※原子力発電所を持たない沖縄電力以外の9電力と日本原子力発電など12社から負担を求める。中国電力は3億3100万円。

※浜岡原子力発電所の廃炉をきめた中部電力は負担したくない旨を申し入れた。

◎野田総理大臣など大臣の発言

- ①9月22日の国連での「原子力安全首脳会合」での、「◎原発輸出の継続」発言。
- ②米紙ウォールストリート・ジャーナルのインタビューで、「来年夏までに原発再稼動」と答える。
- ③枝野経済産業大臣の9月15日の記者会見での「新規原発は個別に判断」という発言。

◎政府の動き

- ①3・11以降中断されていた、内閣府原子力委員会（近藤駿介委員長）による、「新原子力政策大綱」策定会議が9月27日に開催された。
- ②昨年6月18日に策定された、エネルギー基本計画→原子力50%・原発14基増設。

③今年5月11日に、菅首相が基本計画の見直しを発表。

④10月3日からエネルギー基本計画の見直しに着手。（所管官庁：経済産業省総合資源エネルギー調査会）←来年夏までに結論を出す。

被爆者援護法の精神を生かせ。

- ① 過去の補償
- ② 現在の保障
- ③ 未来の保証

ガンジーの碑文

「七つの社会的罪」

- 1、理念なき政治
- 2、労働なき富
- 3、良心なき快樂
- 4、人格なき学識
- 5、道徳なき商業
- 6、人間性なき科学
- 7、献身なき宗教

中国電力・いま上関は！

広島：木原省治

1、原発建設策動のあった場所

- 建設を止めた所
- 建設された所
- 中国電力があきらめきれない所



2、中国電力の原発

島根県松江市鹿島町

1号機42万kw(老朽化原発:定期点検中、配管ひび割れで点検終了は未定)

2号機86万kw(運転中、来年1月から定期点検の予定)

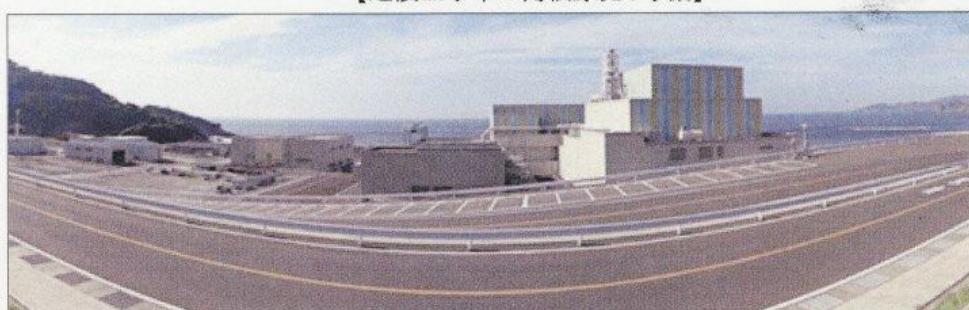
3号機137、3万kw(現在建設中・2011年12月運転開始予定が制御棒駆動装置の故障で運転開始のメド無し)

中国電力の原発比率

全供給力1, 283万kw(2009年実績)

原発は128万kwで、約8%

【建設工事中の島根原発3号機】



島根原発の問題:①活断層1号機の建設前には無いとした活断層。25kmを認めた。

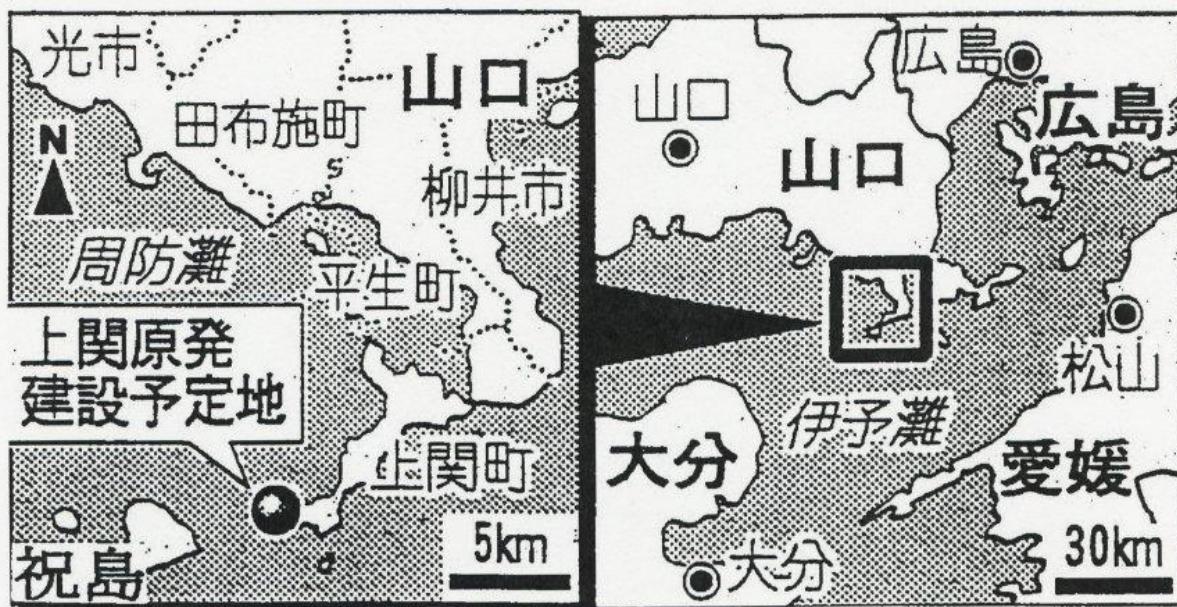
2010年5月31日、島根原発1. 2号差し止め訴訟の判決。

②2010年3月30日に発覚した、点検漏れ。4月30日の中間報告では509箇所の点検不備を認め、記載に問題1159箇所を認めた。

3、島根原発は建設されたが→その後は進まなかった。

中国電力の2代目社長桜内幹雄と、衆議院議員議長、桜内義雄に建設された。

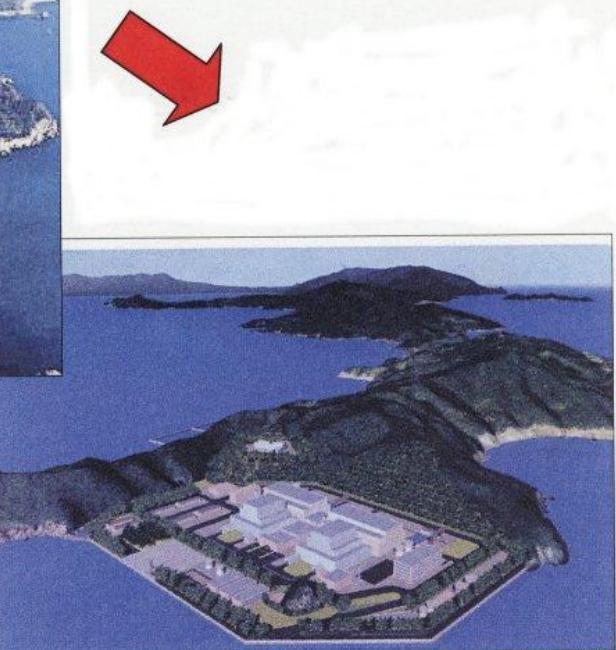
4、上関方式といわれる原発建設工作



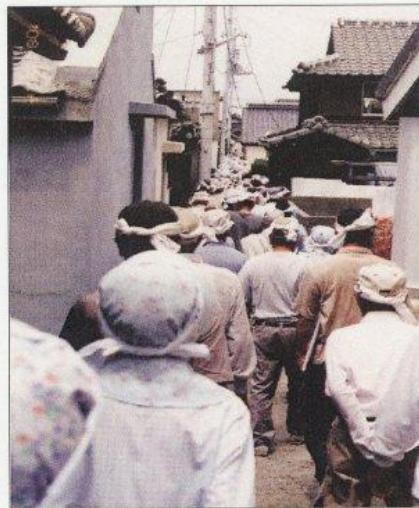
萩、田万川、豊北、青谷で失敗した、中国電力は上関町側からの立地申入れという形を選んだ。
1982年の始頃から、原発視察旅行が頻繁に行われ、住民はこぞって旅行に誘われ、出かけた。



【現在の建設予定地の状況】



【原発が建設されたらこうなる：中国電力の予想図より】



毎週行なわれる祝島の人たちの反原発デモ

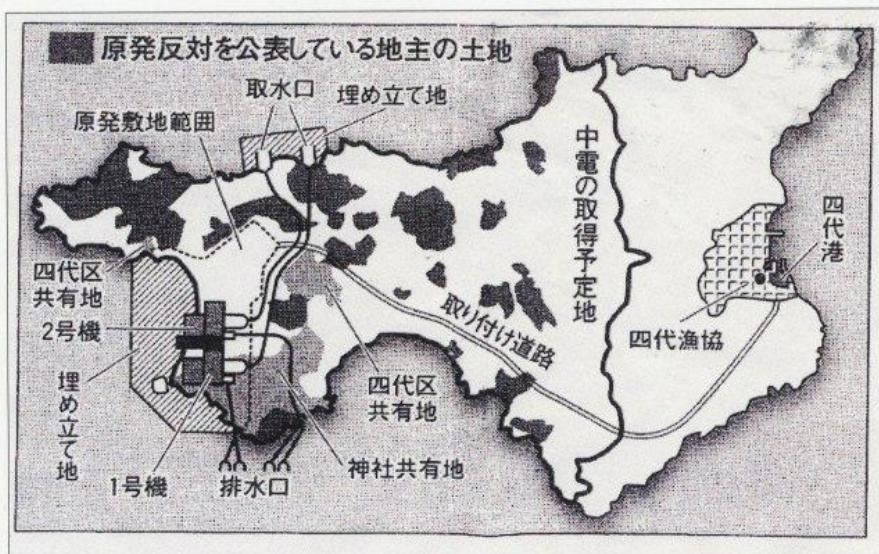
=上関原発を建てさせないためのヒロシマの役割り=

昨年9月からの、中国電力による建設予定地の埋立て着手をめぐる動きをキッカケに上関原発反対の声が全国に広がっていきました。

以前、上関原発に反対する地元の人から「広島の人なら、原子爆弾のことを知っているから、私たちが原発建設に反対する気持ちを一番分かってもらえるだろう」と言われたことがあります。

広島市の中心から、上関原発建設予定地まで約82キロという近い距離にあるということもあります、「核を否定する」私たちの使命としても、上関原発反対の声を広島の中で大きくしなければならないと思います。

そして、万が一、上関原発が建設をされたなら、その電気のほとんどは広島市民が使うことになるですから。



○上関町の人口

2011年3月1日現在

3, 558人

1, 867世帯

内祝島の人口

500人弱

○祝島、八島、長島の三つの島から構成される。長島と本土は上関大橋で陸続き。

○上関出身の有名人:上関町ではないが、熊毛郡出身といえば岸信介、佐藤栄作。上関町では、俳優の原田大二郎くらいか。

○原発問題が浮上してからの町長。

加納 新(1982年6月議会で「町民の同意が得られれば、原発を誘致してもいい」と発言)

片山秀行(1983年4月の町長選挙で初当選。2003年まで町長)

加納簾香(2003年の選挙で町長に。しかし後援会長が買収事件で有罪になったことにより失職)

柏原重海(2003年10月のやり直し町長選挙で当選。現在2期目)

2011年9月25日 上関町長選挙。福島原発事故を経験しながらも、町民の判断は変わらず。

【歴史】

万葉集にも謳われている。

※家人は 帰り早来 (はやこ) と祝島 斎ひ (さいわい) 待つらむ旅行くわれを

※草枕 旅行く人を祝島 幾代経るまで 斎ひ來にけむ

・山口県無形文化財、祝島の「神舞」

・「上関町史」によると、古来より都と中国・九州、そして大陸を結びつける重要な海路であった。ひんぱんに往き来する大陸への使者、任国への官人たち、外国からの使者たち。こういう旅人の船の泊りが航路に従って作られ、以後、長く風待ち、あるいは物資集散の港として利用されることになる。上関、中関、下関と並んで海の番所として栄えた。

・1958年(昭和33年)2月1日に、上関村と室津村が合併して上関町に。

・1969年(昭和44年)上関大橋完成。

・1974年(昭和49年)NHKで放送された「鳩子の海」の舞台。

【上関原発を知る主なキーワード】

1、上関原発が公けになったのは、1982年の事。

2、「上関方式」

3、上関原発とは、137万3000kw。沸騰水型原発2基。

4、埋立てを伴う原発。予定地に反原発の土地が多いので、14万平方メートルの埋立てを要する。

5、選挙における原発賛成、反対の構成比。

6、町民の心を二分させる原発問題。

7、1987年の町長選挙における不正転入事件。

8、漁業補償契約。祝島の漁師さんは補償金の受け取りを拒否。

9、上関原発をめぐる裁判の数々。

10、なぜ山口県が狙われるか。

11、中国電力のPR館「海来館」

12、祝島 ○古くから出稼ぎの島。昔は酒造りの杜氏、塩田、そして原発の下請け労働体験者が多い。

- 一本釣りの漁を主体に、乱獲をしないで資源保護に努める。
- 郷土を愛する意識が強い。(最初の反対組織「愛郷一心会」)
- 毎週月曜日の「反原発定例デモ」2008年6月に1000回を超えた。
- 漁業、みかん、びわが産業。「原発に頼らない島起こし運動」
- 台風の通路になるために、練堀で作った家が多い。

13、予定地周辺は希少生物の宝庫

14、二井関成山口県知事という人物の背景。

15、一昨年の秋からの埋立て着手を巡る攻防。

16、予定地の田ノ浦に団結小屋と監視小屋。4人が住民票を移している。

17、大震災を受けての中国電力の態度。

18、上関原発を止めるには。

1、3・11以前

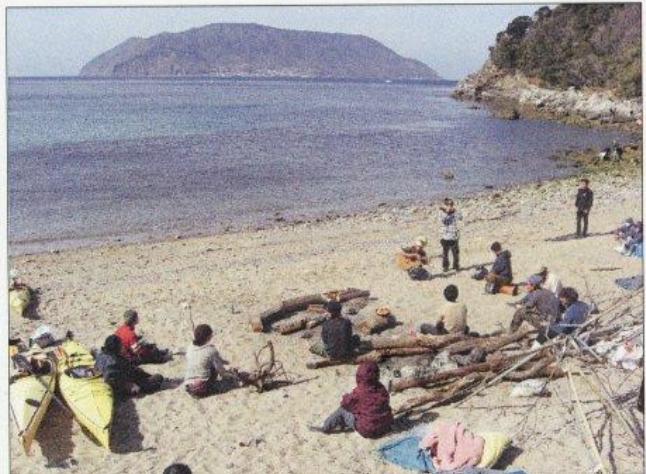
現地の埋め立て免許が、2012年10月に切れることから、2月1日付けで、上関立地プロジェクト長に

就任した山下隆社長(当時)は、2月中旬に大規模な工事の強行に着手した。

3月に入ってからは、海の妨害、陸の妨害に対して「間接強制」を実施に移すべき、裁判の申し立てを行う。



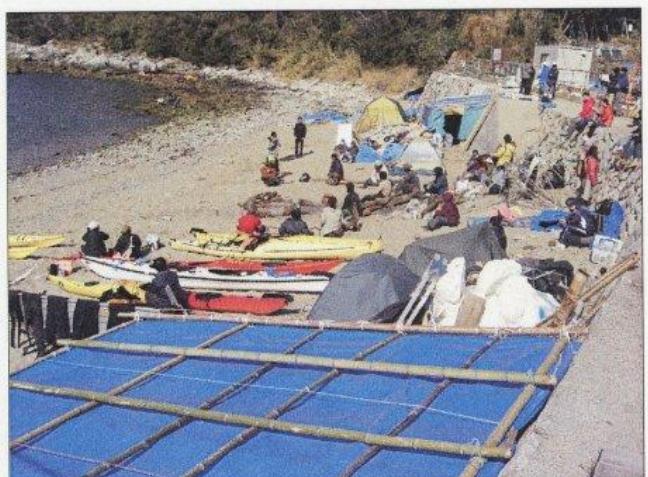
【2月22日多数のガードマンによる反対派の排除行動】



【予定地田ノ浦での監視行動。前に見えるのが祝島】



【作業台船に対する祝島漁船の抗議行動】



【予定地田ノ浦での監視行動。全国からのカヤック隊も】

2、3・11発生

- 3月13日柏原重海町長、二井関成山口県知事が「慎重に対応するよう」とのコメントを発表。
- 3月15日、中国電力は山口県と上関町を訪れ、「工事の一次中断」を説明。
- 5月14日、柏原重海上関町長が町議会で「原発が出来ないと建設中の温浴施設の建設が進まない。財源確保のために原発がベスト」と答弁。
- 6月27日、二井関成山口県知事が、「埋め立て免許の更新はしない」と述べる。
- 山口県議会と県内の19市町議会のうち13議会が原発建設中止または凍結を求める決議を行う。
- 6月29日、中国電力の株主総会で山下隆社長が謝罪したいと表明。
- 8月1日、2009年から行っていた上関原発建設反対署名が目標の100万を超える、100万9527筆となり経済産業省の中山政務官に提出。
- 、二井関成山口県知事が、これまで原子力発電を略称「原電」と呼んでいたのを改め、「原発」と呼ぶと表明する。



【8月22日撮影：予定地の現状】



【3月11日以降に立てられた推進側の看板】